

クリニカルラダーの考え方

パトリシア・ベナー「習技能得段階モデル」を一部改変

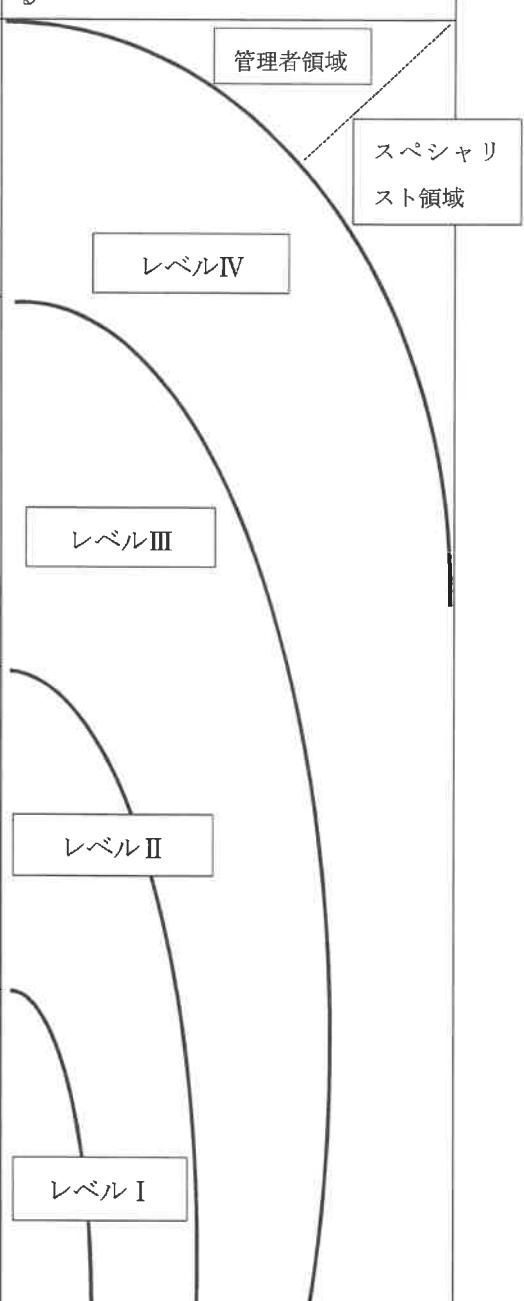
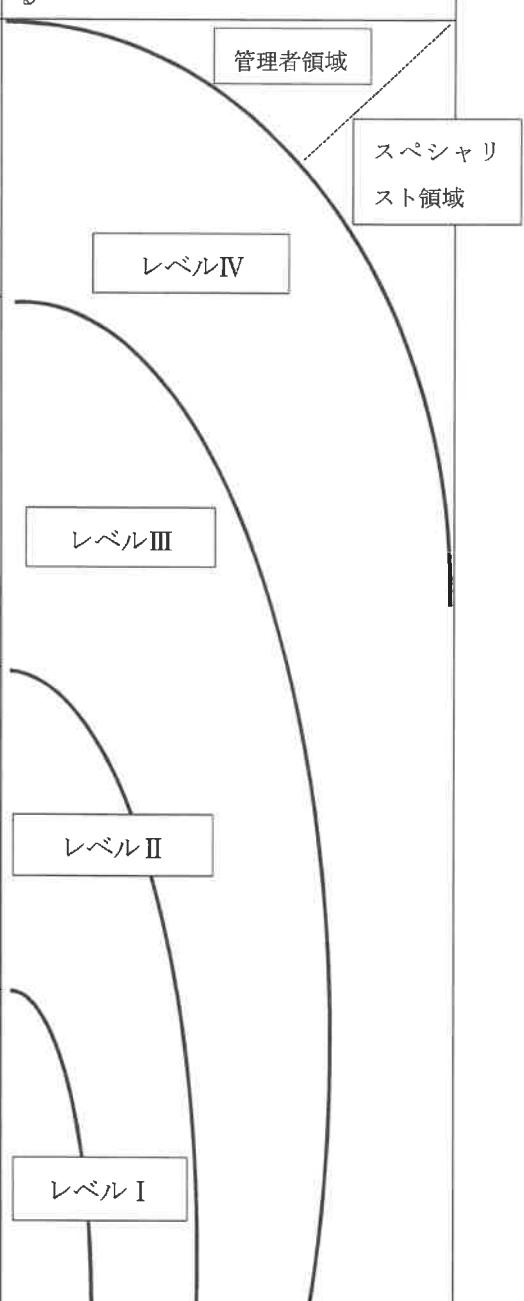
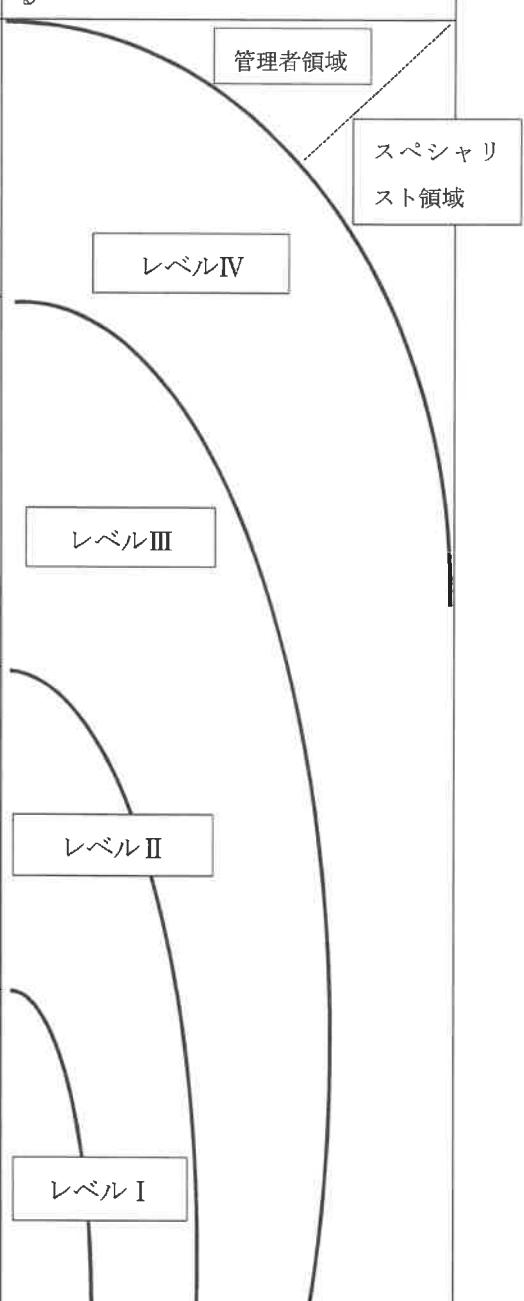
レベル	習技能得段階モデル	習得能力	到達レベル
<新人> 初心者	・原則論に添った行動は限定され、柔軟性がない (看護学生レベル)	基礎能力開発	1. 社会人・専門職としての自覚、責任が持てる 2. 看護基準・手順に添った安全で安楽な看護技術が提供できる 3. チームメンバーの役割と責任が理解できる 4. 日常の看護を振り返り、自己に必要な学習に取り組める
<レベルI> 新人に類する	・繰り返し起こり意味のある状況的要素に注目する しかし実践にはガイドラインが必要である	基礎能力開発	1. かろうじて及第点の業務をこなすことができるレベル 2. 社会人として自覚し行動する
<レベルII> 一人前	・意識的に自分の行動ができるようになる ・何が重要か、何が無視できるかはつきりしている ・行動は刺激一反応パターンから計画的になる	実践能力の育成	1. 一通りの技術を習得し、通常の業務の中で判断に伴う看護実践を一人で行う 2. 濟生会の組織人として行動する
<レベルIII> 中堅	・状況を部分というよりも全体としてとらえる ・ものの見方は思考的によるものではなく、経験や“最近のできごとに根ざした現在そこにあるもの“である	リーダーシップ能力の育成	1. 臨床での出来事を分析的にとらえることができる 2. 濟生会の組織人としての行動のモデルを示す
<レベルIV> 達人	・部分的な原則（ルール・ガイドライン）には頼らない ・状況を直感的に把握し問題領域に正確にねらいをつける	マネジメント能力の育成	1. その領域で考えられる最高の看護実践の展開ができる 2. 専門職業人、濟生会の組織人として行動し、指導する

* 新人は、見守り・支援を受けながら1年後には基本的看護が提供できる。 (1年間)

基本的看護技術では、観察・測定結果から導きだされる看護実践（アセスメント・統合能力・経過が複雑な患者の看護）が十分ではない。(1年後)

標準化した治療・看護の提供（クリニカルパス等）はできる。

人材育成研修プログラム

<レベル及び研修プログラム>					習熟段階 * レベルⅠ～Ⅳは臨床実践能力の段階を示す。なお、レベル4以上から、管理、スペシャリストへの領域へ進むことができる
	到達レベル	研修内容			
		本部	ブロック	施設	
レベルIV	1. その領域で考えられる最高の看護実践の展開ができる 2. 専門職業人、済生会の組織人として行動し、指導する	・新人看護職員教育担当者研修		ミドルリーダー研修	
レベルIII	1. 臨床での出来事を分析的にとらえることができる 2. 済生会の組織人としての行動のモデルを示す	・中堅看護師研修 ・新人看護職員指導者研修（看護部長会主催）	中堅看護師研修	リーダーシップ研修	
レベルII	1. 一通りの技術を習得し、通常の業務の中で判断に伴う看護実践を一人で行う 2. 済生会の組織人として行動する			・人間関係の研修 ・看護倫理の研修 ・看護過程の研修	
レベルI	1. かろうじて及第点の業務をこなすことができるレベル 2. 社会人として自覚し行動する			・組織人として ・基本的技術に関する研修 ・メンバーシップ研修	